

林間保育

滋賀縣長濱幼稚園

近頃幼児教育が國家社會の重要問題として、熱心に研究せらるゝ様になりましたのは私共幼児教育に携つて居る者の誠に喜びに堪へぬ次第でございませぬ。現時幼児教育は非常に進歩して参りましたが、まだ〳〵研究する餘地が多からうと存じます。我が園に於きましても、其研究の一道程と致しまして、初めて林間保育を試みました、乍然何分初めの事で御座いますから、設備や方法に於きましても。實におかしい次第で御座いますが、御参考までに其一斑を記し、皆様の御様の御批評を仰ぐ次第で御座います。

扱私共の幼稚園は元稅務署の古い建物を利用して、假の園舎と致して居りますので、參觀して下さる方々から『是では幼児が可愛想ですネ』と仰つしやつて下さる位園舎は勿論、それ以外總ての點に完全な處がありません。然しながら如何に諸點の完全を缺いたとて、私共の使命を忘れてはなりません、

完全な處が無ければ無いだけそれだけ、私共は一致して全力を擧げて幾分なりとも其の缺を補ひ、多少たりとも可憐な無邪氣な幼児の幸福と、健康とを計らねばなりません。

茲におきまして、私共は何等か適當の方法と、色色苦心致しました結果、幼児の性質其の儘の様な自然!!!

モ一、此自然に親しましむるより外なしと存じまして、新學期から、各組交代で郊外へ出かけ、自然に接せしめまして、完全に保育の目的を達することにつとめました。

然し各組交代では郊外に居る間も少く、隨て効果も薄い様に御座いますから、出來得るならば全園幼児に、あの擴大な自然によつて、伸び得るだけ伸ばしてやりたいと始終念頭を離れずに居りました。然し只今の所保母も足りなく、且つ設備も整つて居りませぬ、今直ぐに是れを實行すると云ふことは不可能

ではございますが、近き將來に於ては理想まで行かずとも、是れに近からしめ様と、確く々々決心致して居ります。

それだまづ其一道程と致しまして、園醫の診断によりまして身體の虛弱者、疾病ある者其他身心の衰弱者と認めたる者を二十八名を一集團として林間保育をする事に致しました、次に私共の試みました林間保育の経過を披瀝致します。

計畫の概要及準備

一、保育者

主任 若森保姆

補助 伊吹、渡邊、細江、各保姆

二、幼兒

イ身體虛弱者

ロ疾病ある者

ハ病後身心衰弱者

等園醫の診断により林間生活をなさしめて比較的効果ありと認めたる幼兒二十八名

三、時日

自大正十一年七月十二日

至大正十一年七月二十六日

四、場所

長濱豊公園

(幼稚園の西方約二丁半閑靜なる處)

五、衛生方面の注意

イ林間保育を施行せんとする幼兒は一應園醫の診断を受けしむる事

ロ急救藥類の準備

ハ運動と疲勞との關係について注意する事

ニ飲料水||冷えたる麥湯

六、保育用携帶品

積木 色紙 畫洋紙 色チヨーク

水遊び及飯事用具 捕蟲網

糸針 のり 塵 等

七、林間保育實際

保育の實際に當りましては、幼兒の自由を尊び、保育者は常に幼兒の友となつて、誘導感化につとめて園兒の自由に委ね、恩物を貸與し自然物其他によつて、種々の製作或は、實生活の模倣させ、時に談唱する等總て、幼兒の自發的活動を基としまして、各兒個性の善導につとめました。

八、日誌の一節

大正十一年七月十八日 火曜日 晴天 溫度午

前十時 八十四度

出席狀態

出席 男十二名 計二十七名
女十五名

缺席 男一名 計一名
女〇名

園兒活動狀態及其等に對する注意

一元氣盛に常に快活であります。

一自己の慾望に従つて恩物等によりまして活動致しました。

一主として水遊び、魚掬ひ、お舟遊び、戰爭遊び、

水泳の真似、植木屋さん、まゝ事遊び、ベース

の真似、ランニング、蟲捕へ等。

一過勞に注意いたしました。

一水分を適度に取りさせました。

一遊び中は園兒の自由に致させまして保母は之れが補導に務めました。

一園兒一人は日射病に罹りました之が手當を致しました。(五分間にて平癒)

來人

收狀

記事

藍色の空には一點の塵雲も止めず太陽はきらきらと地上を照し始めました、一同愉快に楽しく唱歌等うたいつゝ目的地向いました。時は午前八時五分を過ぎて居りました。いつもの小山を見るや我一と、かけ登りました。何れも活氣溢るゝ斗り、中には肩を組み合ふてワツシヨイ／＼と騒いで居ります、さあお休み、と云へばペンチに叢に思ひ思ひに陣取りました。

見渡せば東に伊吹の雄姿南に靈仙山これ等の山を中心に峯巒奇峯重疊して一帶の山脈をなして居ります。茲には渺茫とした琵琶の太湖をひかへており湖南湖西の山山が或は淡く、或は濃く、近くには竹生の蒼翠多景島の奇趣等、眞に山水の佳景を一にしました様な、自然の絶勝地で御座います、其上此の小山は、豊太閤様の城址で御座います、然し今は其あとかたもありませす僅に残る幾株の老松が、磯打つ波や濱風とありし昔を物語つて居ります、やがて一同を此の老木の許に集め人員點呼東方遙拜深呼吸の後自由に遊ばせました。幼兒達は大喜び、すべりつ

つまるびつゝ、打興しながら向の丘の木蔭をさしてかけ行きました。

用意の莫塵敷く間も待ちかねて衣服を脱ぎ捨て運動著と取換へ、はや水中で魚掬ひ、水のかけつこ、水泳の眞似など夢中に騒で居ります。岸では水鐵砲、鹽、バケツ等持出しておのが遊に熱中して居ります。突然伊三ちやんが『先生お魚取つて頂戴い』と云ひ出しました、早速魚取りを始めましたがなかなか取れませんかやつこの事で小魚二三尾を掬いましたから直ぐと、忠雄さんの作つたお池の中へ入てやりました。幼兒達は其周圍に集つて手を打つて喜んでました。

彼方では女兒の一群地上に綾と咲き亂るゝ草花の中へ樂しげに打語らいながら花摘みに餘念なく、此方の木蔭には岩に腰かけ繪本を見るもの、積木をなすもの等、思ひ／＼に遊んで居ります。

向ふの方では數人の幼兒がお猿のお家を取巻いて、可愛い子猿が母ちやん猿に抱こされたりお乳を貰つたり嬉々として戯れて居る様を一心に眺めて居ります、其側の藤棚の下では何かお話が初まつたらしく、幼兒達が園長様の顔をのぞきこんでこゝ

と致して居ります、丘の方で先生／＼との聲がきこえますので何事かとかけつけて見れば『先生御馳走が出来ましたお上り』と公ちやんのお母様ぶり比那ちやん千代ちやんはお姉様役、まあ可愛いことすぐお膳の前へ坐りましたやさしい幼兒達が心盡しの御馳走を頂きました、花のかずかずおみやに貰つて公ちやん達のおうちを出しました。時に時間も相當過ぎましたし、一同疲れたらしく見えましたが皆を呼び集め、暫し木蔭で憩はせました。

太陽はまばゆきまでに照り輝いて居りますが鬱蒼とした梢にさへぎられ僅かに樹の間を透してかすかに光を投げて居ります、碧波漂ふ湖面からは不絶涼風を吹き送つてくれますので、其心地よさ得も云へずさしにも夏の苦熱も忘るゝ斗りであります、一同麥湯に舌鼓を打つて喜びました。今此所に居たと思ふ幼兒は早や遙か向ふで活動致して居ります、捕蟲網携へて蟬取りに熱中する者、叢深く蟲を追ふ者、或は可愛い蝶々に戯れて追つ追はれつ何れ劣らぬ舞い振り見せて、彼方此方へかけ廻る者等夢中になつて居ります、南の小山の四阿では、數人の幼兒が何か熱心に描いて居ります、私を見つけた一人が『先

生畫が描きました』とほこり顔に持つて参りました。

いつも園内では描けない／＼と云つて、ちつとも描かなかつた兒が今日はどうしてこんなによく出来たのでせう、私も嬉しく『大變お上手に描けました子』と、ほめてやれば嬉しさうにニコ／＼として彼方へかけて行きました。ふと愛らしい唱歌の聲が聞えます、見れば眠るが如き静かなる湖上に、立派な汽船が浮いて居ります、轟々たるひびきと共に汽船は長蛇の如くかけて居ります、するとすぐに可憐な幼兒は汽車や汽船のお歌をうたつて喜びました。

時計を見ればはや豫定の時刻を過ぎて居りますからさあ、おかへりにしませうと夢中に遊ぶ幼兒をうながして、取ちらしたる玩具をまとめ服裝を整へ人員點呼を致しました。

折しも丁度向ふから、かけ聲勇ましくボートが参りました。さああのボートにまけない様にごすぐ、ヴァイオリンを手にボードのお遊戯を致しました、かくて最後に萬歳を唱へつゝ皆々元氣よく好きな母様のおうちへ急ぎました。

九、成績

イ 身體上

一體重増加平均一人に付四十六匁七分

二胸圍増加同上 二分四厘

三身長増加同上 一分三厘

四皮膚赤褐色となり抵抗力を増したる者二十

六名

五食慾増進せし者二十六名

六健脚となりし者全部

ロ 精神上

一友誼を篤うせし事

二一般元氣に富み快活となる

三保育者と幼兒との關係密接となり殆んど母

子の情を生じ個性觀察上一層便ならしめし

事

十、感想

前述の様な目的のもとに我國最初の試みである林間保育を終るに當りまして聊か感じた儘を披瀝致します御一讀下さいまして御参考にもなりましたならば幸と存じます。

凡そ何事によらず理想と實現とはなかく一致致すものでは御座いませぬ、如何に最善の方法と信じて致しました事でも、思はぬ失敗を招く事が御座い

ます、僅か二週間に過ぎない、林間保育に於てすら次の様な失敗を重ねました。

先づ服装について、御座いますが、私共の保育の場所が湖邊で御座いますから、随つて水遊びが多く折角親御達の苦心になる服装も歸りには、メチャメチャと云ふ有様尙水遊びでなくとも、土砂の類で大變汚しますから早速左の通り改めました、即ち運動の時には、

男児 シャツとパンツ

女児 極簡單なる改良服

尙水へ入ります際、ハダシに致しましたが、一二の幼児が足を切りましたので、以來草履のまゝに致させました。

次にお湯の準備で御座います。

幼児は園内に居ります時より、一層活動が盛で御座いますから随て、水分を欲する事も多く、是等も適量に與へる事が必要かと存じます。

扱て前申ました様に、準備其他總て不充分勝なる其上に何等學識經驗もなき私共が、新しき試みを實施するに當りましたは、實に戦々兢兢として、只管恙なく此の期の終らん事を念じて居りましたが、幸

ひにも身體、精神兩方面に好結果を得ました事は實に、皆様方の御援助の賜であります。

僅二週間の期間では御座いましたが、何等拘束なき自由の天地に抱擁されつゝ、自然を友として楽しい生活を致しました、幼児の幸福は申すまでも有ません。

みだりに園内保育にのみ傾き、伸びんとする幼児を束縛する如き不自然なる方法を避け出來得るかぎり效外に於て、自然の眞美を味ひ、大に自然を利用して保育の効果を大ならしむるやう、つとむべきではありませんまいか、今回の試みにより我國將來の保育の方針に一大革新を促せる所のあつた事を、確信致しました。以上